

令和6年3月31日

東京工業大学 EISESiV コンソーシアム

令和5年度事業報告書

東京工業大学 EISESiV コンソーシアム
コンソーシアムリーダー 廣井 聡幸

1. EISESiV コンソーシアムについて

(ア)JST COI「『サイレントボイスとの共感』地球インクルーシブセンシング研究拠点」の成果を引き継ぎ、2022年4月東京工業大学に設置。

(イ)第1回全体会議で、コンソーシアムの名称、位置づけ、ビジョン、体制、活動、会議体等を決定した。

① コンソーシアムの正式名称

EISESiV コンソーシアム

- ・地球インクルーシブセンシングコンソーシアム『サイレントボイスとの共感』
- ・ Consortium for Earth Inclusive Sensing Empathizing with Silent Voices

② コンソーシアムの位置づけ

COIプロジェクト活動成果をバックグラウンドとし、EISESiV ビジョン実現に向けた活動を行う。

- ・ EISESiV ビジョンを継続的に深耕する。

継続のための競争的資金獲得提案

- ・ 会員のニーズ・シーズのマッチングを行い、情報交換、意見交換を行ない新規テーマを研究する。活動加速のための競争的資金を獲得する。

③ コンソーシアムのビジョン

”『サイレントボイスとの共感』地球インクルーシブセンシング”
～ “地球インクルーシブセンシング”が目指す社会 ～とする。

(詳細は HP に掲示 <https://www.knc.titech.ac.jp/eisesiv/index.html>)

2. EISESiV コンソーシアム参加機関 (令和5年度)

令和5年度(2023年)は、4月に企業会員1社、12月に研究会員1大学が新たに参加し、企業会員9社、研究会員5大学となった。

- ・ 研究会員：東京工業大学、北陸先端科学技術大学院大学、信州大学、大阪国際工科専門職大学、**慶応義塾大学(2023年12月加入)**
- ・ 企業会員：ソニーグループ株式会社、ルネサスエレクトロニクス株式会社、音羽電機工業株式会社、株式会社イー・ビー・アイ・マーケティング、株式会社電通国際情報サービス、株式会社イーグリッド、富士通セミコンダクターメモリーソリューション株式会社、エヴリム株式会社、**株式会社インフィネット** (2023年4月加入)

3. EISESiV コンソーシアムの活動について

コンソーシアムの活動テーマの議論を行ない、テーマを設定した。

(ア) 動物のサイレントボイス: [リーダー: 伊藤准教授]

(イ) 大気サイレントボイス: [リーダー: 水田教授]

(ウ) メモリ: [リーダー: 角嶋准教授]

(エ) 新規テーマについて検討し、調査活動を開始した。

4. 全体会議の開催 (令和5年4月～令和6年3月)

(ア) 会員相互の情報共有と業界最新動向の把握と議論の目的で毎月1回の全体会議を12回開催した。5月度全体会議は信州大学、11月度全体会議は北陸先端科学技術大学院大学 (JAIST) で開催した。各大学の実験施設見学も行った。

(イ) 全体会議は EISESiV コンソーシアムの企業会員、研究会員、リーダー、サブリーダー、事務局員が参加可能とした。

(ウ) 研究会員、リーダー、サブリーダー、企業会員の中から各回2-3名が専門領域について報告をして、全員で質疑応答と議論を行った。

(エ) 全体会議にコンソーシアム外の方を招待し講演をしていただき、質疑応答と議論を行なった。

(オ) 全体会議の後に、意見交換のための懇親会を開催した。

5. シンポジウムの開催

2023年10月30日(月)に、集積システム材料産学連携コンソーシアム(iSyMs)との共催で、「サイレントボイスが支える私たちのウェルビーイング」と題する公開シンポジウムを開催した。参加者は94名(オンライン参加含む)。

https://www.knc.titech.ac.jp/eisesiv/news/20231102_news.html

6. 運営委員会の開催 (令和4年4月～令和5年3月)

(ア) リーダーから委嘱された運営委員によって、運営委員会を構成した。

(イ) コンソーシアムの運営上の重要事項を審議するため、リーダー(運営委員長)が運営委員会を3回開催した。

(ウ) 重要事項として、コンソーシアム規約の一部改訂、新規加入会員、予算の配分を審議し決定した。

以上